

副 本

平成27年(ワ)第8495号 損害賠償等請求事件

原告 出口 俊一

被告 左巻 健男

証 拠 説 明 書 4

平成27年11月9日

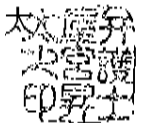
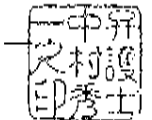
東京地方裁判所 民事第7部ほB係 御中

原告訴訟代理人

弁護士 松 村 光

同 中 村 秀

同 屋 宮 昇



| 号証 | 標 目 (原本・写しの別) | 作成 年月日 | 作成者 | 立 証 趣 旨 |
|-------|--|-----------|---------------------|--|
| 甲10の1 | 地図・「世界に広がるEM技術」 写し | H26.1 | 株式会社 EM 研究機 構 | EM 技術が世界各国に普及している事実。 |
| 甲10の2 | EM・1普及状況 と題する書面 写し | H27.6 | 同上 | 同上 |
| 甲11 | 日本看護研究学 会雑誌 Vol.34 No.1 「使用後紙 おむつの臭気 に対する発酵資材 の消臭効果の検 | H23 | 新野峰子 | EM を使用し、紙おむつの消臭効果を検討した結果、消臭効果があるとの結論が示された事実。 |

| | | | | | |
|----------|-----------------------------------|----|-----------|------------------|--|
| | 討」と題する研究報告 | | | | |
| 甲 12 | 試験報告書 | 写し | H25.12.16 | 一般財団法人日本食品分析センター | 検体 EM・1 のインフルエンザウイルスに対する不活化能試験を行った結果、 ①検体の影響を受けずにウイルス感染価が測定できることを確認した ②検体の 100 倍希釈液では、30 分後の作用液 1ml 当たりのウイルス感染価は、開始時に比べ 4.3 以上減少した という実験結果が報告された事実。 |
| 甲 13 | デジタルニューディールのウェブページ | 写し | H27.8.5 | 株式会社 DND 研究所 | 平成 22 年 4 月に宮崎県で発生した口蹄疫の防疫措置の実施についての EM の貢献に対し、農林水産大臣から比嘉照夫教授に感謝状が贈られた事実。 |
| 甲 14 | EM 情報誌「健康生活宣言」に掲載されている特集「EM 海外通信」 | 写し | H24.2 | 株式会社 EM 生活 | ケニア共和国において、農業分野、環境分野、ケニア政府との共同プロジェクトなど、EM の普及活動が多様な分野で進められている事実。 |
| 甲 15 | 同上 | 写し | 同上 | 同上 | ケニア共和国における環境改善活動に、EM が貢献している事実。 |
| 甲 16 | 拓殖大学ホームページ | 写し | H21.頃 | 拓殖大学 | 拓殖大学の学生が、ケニア共和国で EM に関する施設を見学するなどし、EM が農業や牧畜に利用されている状況について報告している事実。 |
| 甲 17 | EM 情報誌「健康生活宣言 VOL.13」 | 写し | H26.9 | 株式会社 EM 生活 | EM 技術が、タイにおいて、国家プロジェクトとして悪臭対策や水質改善に活用されている事実。 |
| 甲 18 | EM 情報誌「健康生活宣言 VOL.21」 | 写し | 同上 | 同上 | 比嘉照夫教授に対し、EM 技術の功績により、タイ国立大学の名誉博士号を授与された事実。 |
| 甲 19 の 1 | 「European Journal of Agronomy」 | 写し | H25.頃 | (翻訳) 株式会社 EM | 中国において、11 年間にわたって、土壌産出力及び作物生産の改善のための長期フィールド |

| | | | | | |
|----------|--|----|------------------|----------------------------|--|
| | y」に掲載された 甲 19 の 2 の英語 論文の翻訳文 | | | 研究機構 | ド実験を実施した結果、EM を添加することで、土壌の産出力が堆肥のみの適用と比較し、より高い効果が得られたことなど、有意な結果が示された事実。 |
| 甲 19 の 2 | 甲 19 の 1 の原文 | 写し | H25.頃 | Cheng Hu Yingchun Qi | 同上 |
| 甲 20 の 1 | 「Journal of Horticultural Science & Biotechnology」に掲載された甲 20 の 2 の英語論文の翻訳文 | 写し | H25.頃 | (翻訳) 株式会社クリムゾンインタラクティブジャパン | EM が病原菌や疾病の発生を削減し雑草から保護することで野菜の品質や収量を向上させ、維持可能な農業に貢献しうることが明らかとなった、との研究がなされた事実。 |
| 甲 20 の 2 | 甲第 20 号証の 1 の原文 | 写し | H25.頃 | M. Olle I. H. Williams | 同上 |
| 甲 21 の 1 | 洪水被害による 汚水浄化プロジェクト実施結果 まとめと題する 文書 (甲 21 の 2 の翻訳文) | 写し | H23.11. | (翻訳) 株式会社クリムゾンインタラクティブジャパン | タイの大洪水に際し、陸軍災害救援センターが、EM 活性液を用いて、環境保護活動を行った事実。 |
| 甲 21 の 2 | 甲第 21 号証の 2 の英文書 | 写し | H23.11. | タイ王国陸軍 | 同上 |
| 甲 22 の 1 | 中部 14 県の洪水 被害地域における 汚水問題緊急 解決プロジェクト実施成果の まとめ | 写し | H23.10 ~ 11 頃 | タイ王国国防省、天然資源・環境省 | 国防省が EM 技術を使用し、汚水浄化を行った活動が報告された事実。 |
| 甲 22 の 2 | 甲第 22 号証の 1 の原文 | 写し | H23.10 ~ 11 頃 | (翻訳) 株式会社クリムゾン | 同上 |

| | | | | インタラクティブ ジャパン | |
|----------|-------|----|-----------|------------------|---|
| 甲 23 | ツイッター | 写し | H27.6.19 | 被告 | 被告自身が、ツイッターで「リツイートはその投稿の同意拡散になるのでツイートしただけということと言っても通らない」と述べている事実。 |
| 甲 24 の 1 | ツイッター | 写し | H26.4.1 | 被告 | 被告が、原告がかつて所属していた東京農工大学について、「農工大は笑われるよ。技術研究研究科は科学が弱いのかつて。」と述べている事実。 |
| 甲 24 の 2 | ツイッター | 写し | H26.8.1 | 被告 | 被告が、原告がかつて所属していた東京農工大学について、「出口俊一氏を客員教授にしている東京農工大学（中略）といい知は荒廃するばかり」と述べている事実。 |
| 甲 25 の 1 | ツイッター | 写し | H26.10.26 | 被告 | 被告が、原告が現在所属している金沢工業大学について、「出口俊一氏（中略）雇う大学は酷い。」と述べている事実。 |
| 甲 25 の 2 | ツイッター | 写し | H26.12.18 | 被告 | 被告が、原告が現在所属している金沢工業大学について、「金工大にとって大いなるマイナスだと思います。」と述べている事実。 |

以上